

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から見た大関小学校児童の姿

坂井市立大関小学校

児童生徒の学力を把握する目的で毎年実施されている全国学力・学習状況調査が、4月に小学校6年生を対象に実施されました。大関小学校6年生（24名、欠席1名）の平均正答率は、国語では、県や全国の平均を下回りましたが、算数や理科では県や全国の平均を上回りました。

今年度の調査の結果から分かる本校児童の概要をお知らせします。学校では、今回の結果をもとにさらなる教育活動の工夫と改善に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、分析結果を参考にしただけで、生活習慣や学習習慣の改善にお役立てください。どうぞよろしくお願いいたします。

I 教科に関する調査結果

【国語・算数 平均正答率比較】

	国語	算数	理科
福井県との比較	△	○	○
全国との比較	△	◎	◎

全国や県平均と比較して、

- ・ 5ポイント以上上回っている…5≦◎
- ・ 上回っている …0<○<5
- ・ 下回っている …△<0

【国語・算数 領域・問題形式別 正答率比較】

教科	国 語								
分類	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式		
区分	言語	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	△	△	○	○	△	△	○	△
全国との比較	◎	△	△	○	○	△	△	◎	○

教科	算 数									
分類	学習指導要領の領域					評価の観点		問題形式		
区分	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式
県との比較	◎	◎	◎	○	△	◎	○	○	◎	○
全国との比較	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○

教科	理 科								
分類	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式		
区分	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式
県との比較	◎	○	△	○	◎	△	○	○	△
全国との比較	◎	○	○	○	◎	○	◎	◎	△

学習内容の領域別にみると、算数では「測定」の領域が大きく上回っていました。理科では「エネルギー」の領域が上回っていました。国語では「書くこと」に課題が見られました。問題形式別では、国語、算数とも「短答式」が良好であることが分かりました。理科では、記述式に課題がみられました。

国 語

- ◎学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(言語)
- ▲話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることが苦手。(話すこと・聞くこと)
- ▲書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることが苦手。(書くこと)
- ▲目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することが苦手。(話すこと、聞くこと)

算 数

- ◎棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。(数と計算)
- ◎異分母の加法の計算をすることができる。(数と計算)
- ◎基本図形に分割することができる図形の面積の式や言葉を用いて記述できる。(図形)
- ◎はかりの目盛りを読むことができる。(測定)
- ▲簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことが苦手。(データの活用)
- ▲伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことが苦手。(データの活用)

理 科

- ◎身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いている。(エネルギー)
- ◎乾電池のつなぎ方について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いている。(エネルギー)
- ▲赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果をもとに結論を導いた理由を表現することが苦手。(地球)

【今後取り組んでいくこと】

国 語

- ・国語以外の教科でも、資料から必要な情報を読み取り、要約したり考えたことを書かせたりして、友達に自分の考えを伝え合う時間を確保していきます。
- ・文章の大切な言葉を選び、内容を理解することを意識するために、友達の文章やメモを読み、感想や意見を具体的に伝え合うことを授業に取り入れていきます。

算 数

- ・グラフや表が出てくる問題で、最初から教員がかみ砕いて伝えるのではなく、グラフや表から分かることなどを書かせ、児童にじっくり考える時間を与えます。さらに、友達同士で教え合いをする時間を確保していきます。

理 科

- ・具体物を使った実験を重視し、取り入れていく中で「予想→実験→結果→考察」の流れを大切にしたい授業を行っていきます。

2 生活習慣や学習状況等に関する調査結果

全国学力調査では、「生活習慣や学習環境による質問紙調査」も併せて行われています。気になった質問項目を挙げました。

○生活習慣について

質問番号	質問事項											
(1)	朝食を毎日食べていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	91.3	8.7	0.0	0.0							0.0	0.0
福井県（公立）	83.5	11.5	3.7	1.2							0.0	0.0
全国（公立）	83.3	10.4	4.8	1.6							0.0	0.0

☐1. している

☐2. どちらかといえば、している

☐3. あまりしていない

☐4. 全くしていない

☐5. その他

☐無回答

▲毎日朝食を食べている児童は100%でした。

□体の成長や、学習に大きく関係しています。引き続きよろしくお願いいたします。

○自分自身に関することについて

質問番号	質問事項											
(5)	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	39.1	47.8	8.7	4.3							0.0	0.0
福井県（公立）	48.3	39.4	9.0	3.2							0.0	0.1
全国（公立）	47.3	39.6	9.1	3.9							0.0	0.0

☐1. 当てはまる

☐2. どちらかといえば、当てはまる

☐3. どちらかといえば、当てはまらない

☐4. 当てはまらない

☐5. その他

☐無回答

▲「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童の割合は、86.9%でした。

□決して高い数値ではありません。今後も、ポジティブ教育を推進しながら、児童一人一人を認めたり、友達や異学年と交流したりすることで、児童自らが自分の良さや役割を理解・認識し、自己肯定感や自己有用感が高まる取組を進めていきます。

○家庭での様子について

質問番号	質問事項											
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	0.0	4.3	21.7	39.1	17.4	17.4					0.0	0.0
福井県（公立）	6.6	10.8	27.9	33.0	15.8	5.9					0.0	0.1
全国（公立）	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7					0.0	0.1

☐1. 3時間以上 ☐2. 2時間以上、3時間より少ない ☐3. 1時間以上、2時間より少ない ☐4. 30分以上、1時間より少ない ☐5. 30分より少ない ☐6. 全くしない ☐7. その他 ☐8. 無回答

- ▲「平日1日のあたりの学習時間が1時間以上」、「休日1日あたり1時間以上学習する」と回答した児童の割合は、いずれも県・全国平均を大きく下回っています。また、平日に「30分より少ない・全くしない」と答えた児童も3割程度いるなど、家庭での学習時間が少ないことが分かりました。
- 自ら計画を立て、進んで学習に取り組める児童の育成を目指し、引き続き学習に応じて課題の出し方を工夫したり、宿題以外に学習の定着のための自主学習のやり方を提示したりしていきます。

○読書について

質問番号	質問事項											
(24)	読書は好きですか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	21.7	21.7	13.0	39.1							0.0	4.3
福井県（公立）	30.6	34.3	21.6	13.4							0.0	0.1
全国（公立）	36.4	33.3	18.5	11.7							0.0	0.1

☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない ☐5. その他 ☐6. 無回答

質問番号	質問事項											
(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	4.3	0.0	17.4	17.4	13.0	47.8					0.0	0.0
福井県（公立）	4.9	6.9	14.8	24.8	19.5	28.9					0.0	0.2
全国（公立）	6.4	8.8	15.9	22.1	17.4	29.2					0.0	0.1

☐1. 2時間以上 ☐2. 1時間以上、2時間より少ない ☐3. 30分以上、1時間より少ない ☐4. 10分以上、30分より少ない ☐5. 10分より少ない ☐6. 全くしない ☐7. その他 ☐8. 無回答

- ▲読書が苦手な児童が52.1%と多いです。
- ▲10分より少ないと答えた児童が60.8%とかなり多いです。
- 朝学習の10分間、給食後の10分間、様々な場面で読書活動に取り組ませたいと思います。机の中や手提げに本を入れておき、日常的に読書に親しむ時間を意図的に確保し、読書習慣の定着を図っていきます。